

【知識及び技能】工芸の基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、制作活動に取り組む。
 【思考力、判断力、表現力等】素材・表現方法についての理解を深め、応用して制作に生かす。
 【学びに向かう力、人間性等】自ら試行・工夫し、作品の完成度を高める。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
① ＩＣＴを活用した情報収集を行い、制作に生かす。 ②材料の特性を理解し、加工技法に習熟する。	機能性、対費用効果に基づき、設計、制作を進める。	作品の完成度を追究し、自ら試行・工夫し制作に取り組む。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現		鑑賞	評価規準	知	思	態	配当 時数
			身	社						
1 学期	収納家具を製作する。 市販品にはない、使いやすさを重視し、対費用効果の高い作品を完成させる。	・端末を利用し、市販品、手作り品を幅広く観察し、製作の構想を練る。 ・入手可能な素材を比較検討し、予算を立て、購入準備する。 ・収納する物を選び、出し入れのしやすさを重視して設計をする。 ・スペースを有効活用して設計をする。 ・試作品を製作する。	○	○	○	・機能性の高い設計ができているか。 ・創意工夫をして完成度を高めようとする意欲があるか。 ・根気よく製作に取り組む姿勢があるか。	○	○	○	24
		・本製作をする。	○			・各素材の特性を理解し、加工技法に習熟しているか。 ・創意工夫をして完成度を高めようとする意欲があるか。 ・根気よく製作に取り組む姿勢があるか。	○	○	○	
2 学期										28
3 学期										18
		・完成した作品を互いに鑑賞し、創作の喜びを味わい、自信を持つ。		○	○	・作品の良いところを認め合い、自信を持つことができたか。			○	
合計										70

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 芸術 科目 硬筆書道

单位数： 2 单位

使用教科書：（ 高校硬筆の練習 ）

の目標：

【思考力・判断力・表現力】 古典の価値について考え、筆脈の感覚・書風の特徴を判断して筆者の個性を表現する。

【主体的に学習に取り組む態度】作品を鑑賞し、書の変遷に関心をもち、表現においても意欲的に取り組む。

の目標：

【知識・技能】	【思考力・判断力・表現力】	【主体的に学習に取り組む態度】
・日本と中国の文字と書の伝統と文化・書体の変遷を理解する。 ・各書体特有の字形・線・質について理解する。	・古典の価値について考え、書のよさを味わう。 ・味わった美しさ・感性を豊かにし、作品の表現の違いを判断する。	・作品を鑑賞し、書の変遷や文化に関心を持ち、表現において意欲的に取り組む。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			漢仮	漢	仮						
1学期	楷書の基本	・基本の点画 ・楷書の筆順 ・文字の構成	○			○	提出作品の評価 授業態度 欠席時間数	○		○	8
	諸文字の書式	・部首 ・旧字体と書写体 ・はがき・封筒	○			○	提出作品の評価 授業態度 欠席時間数	○		○	8
	諸文字の書式	・便箋 ・ポスター	○			○	提出作品の評価 授業態度 欠席時間数			○	4
	行書の基本	・基本点画 ・楷书と比べて、流れや形の美しさを理解	○			○	提出作品の評価 授業態度 欠席時間数	○	○		4
2学期	行書 草書の基本	・楷書に近い行書、草書に近い行書の幅の広さ、点画の省略の仕方を部首別に研究 ・草書の基本点画 ・類似書体	○			○	提出作品の評価 授業態度 欠席時間数	○	○		14
	かな	・片かな ・楷書に調和する平かな、行書の調和する平かな ・平かなの字源 ・連絡 ・変体がな				○ ○	提出作品の評価 授業態度 欠席時間数	○	○		14
3学期	作品	・漢字とかなの調和 ・詩を書く		○		○	提出作品の評価 授業態度 欠席時間数		○	○	10
	作品	・散らし書き ・俳句、短歌	○			○	提出作品の評価 授業態度 欠席時間数		○	○	8
											合計 76

高等学校 令和7年度（3学年用）教科 芸術		科目 保育のためのピアノ	
教科：芸術	科目：保育のためのピアノ	単位数：	2 単位
対象学年組：第 3 学年 1 組～ 6 組			
教科担当者：（1 組：清水真優）（2 組：清水真優）（3 組：清水真優）（4 組：清水真優）（5 組：清水真優）（6 組：清水真優）			
使用教科書：（ポケットいっぱいの子）			
教科 芸術	の目標：		
【知識及び技能】	芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。		
【思考力、判断力、表現力等】	創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。		
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。		
科目 保育のためのピアノ	の目標：		

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主體的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

[illegible]

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	色鉛筆画	色鉛筆の種類や使い方を学ぶ。 模写のやり方を学ぶ。 各自が選んだ題材で模写をする。	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	20
	自由課題の計画表作成	2～3学期に行う自由課題の題材 決めおよび計画表作成	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	6
2 学 期	自由課題	各自が選んだ課題を計画通りに進める	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	28
3 学 期	自由課題	各自が選んだ課題を計画通りに進める	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	16
合 計							70

高等学校 令和7年度（3学年用）教科 芸術 科目 音楽Ⅲ

单位数： 2 单位

使用教科書： (Joy of Music)

の目標：

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

科目 音樂Ⅲ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽文化の多様性について理解するとともに、創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに音楽表現を創意工夫したり音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりすることができるようにする。	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、音楽文化を尊重し、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

[illegible]